



目次：1面 平成 28 年度「国際交流・協力ネットワーク会議」参加 2面 「TIFA サロン」開催／「がいこくごと にほんごの おはなし会」予告 3面 「取手一高 総合学科授業」講師派遣／取手ガーデンロード「コスモスの種まき」 4面 日本語教室 NOW／「ツーリズム ESPO ジャパン 2016」紹介／新会員紹介

## 平成 28 年度「国際交流・協力ネットワーク会議」参加



全大会

7月6日茨城県国際交流協会主催の“国際交流・協力ネットワーク会議”が水戸の県民文化センターで開催されました。

参加者は、茨城県市町村自治体、市町村国際交流協会、民間団体から125名の参加がありました。当協会からは5名、事務局から1名が参加をしました。

県国際交流会理事長の挨拶、事業計画の説明があり、全体会では、横浜市立大学教授（元駐ベトナム大使）の坂場三男氏の“新しい日越関係～今”と題して講演がありました。日本とベトナムは昔から親密な関係にあり、

現在も親日の国の一つです。在日ベトナム人数（2015年末）は約15万人（国別5位）と多く、留学生、技能実習生も増えています。

分科会では、第1から第3分科会に分かれて情報、意見交換を行いました。

第1分科会は“外国人と共に進める多文化共生のまちづくり”と題し、常総市から“常総市



第3分科会で司会中の三上部長

における多文化共生の取り組み”について水害

時の外国人への連絡、復旧での立ち上げ等、苦労も含めて発表がありました。第2分科会は“技能実習生受け入れの取り組み”、第3分科会では“ボランティア日本語教室の役割と可能性～外国人と共に作り上げる交流の場”を題材に、当協会の日本語教室部長 三上が司会を務め、TIFAの活動報告をしました。 萩原義夫



第1分科会で発表中の萩原副会長



# TIFA サロンー世界の料理を楽しむ集い



## 海南鶏飯(マレーシア)とペルーのデザート



海南鶏飯

7月3日(日)井野公民館に30数人のTIFA(会員、非会員)が集まりました。参加者の構成は、外国出身者18名に対し日本人14人と言う非常に良いバランスだったと思います。その日のお昼ご飯?として出来上がった頃にお子様連れで食べに来る参加者のご家族も何組かいました。

取手市国際交流協会(TIFA)では、年数回このような「世界の料理」の企画を実施していますが、今回は特に“TIFAサロン”ということで用意されたレシピに従って料理を作って食べるだけでなく、マレーシア出身者からお国の風俗習慣などの話を聞き、質問する時間を設けました。

当日用意したマレーシアの珍しい果物や人気のお土産、現在使われている紙幣、硬貨など皆さん実際に手に取り、とても興味津々の様子でした。

試食した本場のマンゴーはおいしかったです!

海南鶏飯は、日本では「ハイナンチキンライス」として近年人気の料理です。写真でご覧いただけるように5



講師: 山中韻晶さん

~6人のグループに別れ各料理

台でチキンを丸ごと茹でるのですが、大きくてなかなか火が通らず大苦戦したり、スープを作ったり、野菜、ご飯(チキンライス)を上手に盛り付けしておりました。

デザートとして作ったチチャモラーダ(ペルーの飲み物)はほとんどの人が初めて経験した不思議な味でした。 土井照夫



チキン丸ごと!

♡みなさん、参加してください♡

★ がいこくごと にほんごの おはなし会 ★

9/25(日) pm1:30~pm3:00 入場無料

取手市立ふじしろ図書館 2階集会室

TIFAの外国出身会員が外国語で絵本の読み聞かせをします。

今年は、タイ語・中国語・ベトナム語・英語!

小さなお子さんから大人まで楽しめます。



1階の「喫茶室フローラ」では、11:30~外国の家庭料理が限定20食500円で楽しめます。

## 取手一高の総合学科授業に講師派遣

茨城県立取手第一高等学校 総合学科の授業の一部として「地域マイスターに聞く職業と地域の課題」に関して当協会に講師派遣の依頼がありました。総務部長の萩原副会長と相談の結果、「次世代多文化共生社会」の主題について講義を行いました。



講演内容は多文化と言っても自分達と多くの共通項目があること、多くの共通項と異なる社会、歴史、教育を整理すれば将来の日本の姿が想像（創造）できるのではないだろうかと発題をしました。この授業は、今後半年間に渡り学生達のグループワークとして纏められるとのこと。この期間、助言及び企業訪問の機会を作るよう依頼もされました。

当日の学生感想文を転載します。

- \* 僕は講義の中、日本で1年40万人ずつ介護を必要とする人たちが増えている現実を知り驚きました。また同時に自分たちで介護の問題を何とかしようと思いました。(男子)
- \* 私は講義から日本の文化のみならず様々な外国の文化に興味を持ちました。先生が多文化を「他文化」と表現されていたこと、様々な事柄と結び付けて丁寧な講義をしてくださったおかげだと思います。これから私はたくさんの文化が入り組んだところで何が起こり得るのかを考えていこうと思っています。(女子)

志村 俊晴

## 取手ガーデンロード 「コスモス」の種まき



毎年取手市が行っている“取手ガーデンロードの「コスモス」の種まき”にTIFAは今年も参加しました。取手ガーデンロードは取手市が行っている緑化推進事業の一環として、毎年開催されています。場所は市民会館裏手の利根川河川敷です。取手市が一区画約10㎡強の畑を60区画用意し、市民、各種団体から希望を募り「コスモス」の種を蒔いてもらい、夏から秋にかけてコスモスの花で一杯のガーデンロードを作る計画です。

TIFAに割り当てられたのはNo18の区画です。6月10日に四方田、佐々木、鈴木のと3人で畑に畝を作り、コスモスの種を蒔いてきました。

TIFA会員の皆様、散歩がてら時々見に行ってください。雑草が生えていたら取り除くことも宜しくお願いします。



ちなみに、コスモスの花ことばは「乙女の純真」です。

交流部 鈴木 忠男

私はベトナムより2回目の来日で通算7年になり、色々なことが気になっています。毎朝仕事が始まる前の朝礼はその中の一つです。朝礼の目的について考えていましたが、今年の3月までは一度の発表もなく、朝礼を聞くだけで何も考えずに仕事を進めてきました。4月から会社の組織が変わり、毎朝、各課全員が順番に朝礼をすることになり、この疑問を思い出しました。今回よく考えてみると、次の二つの目的が考えられました。



左がミンさん

第1は仕事のコミュニケーションが円滑に進められる事です。同僚と自分の思いや考えなどを共有できれば、仕事の時に話し易くなれます。会議の前の待ち時間に朝礼の話しについて誰かが声を掛けると、会話がはずみ、会議の時にも議論が円滑に進んだ事もありました。

第2は発表力や伝達力のスキルアップです。多くの人の前で話すことは難しい事だと思います。このスキルは説明が多い仕事、また将来のリーダーの仕事に役立つものと思います。

私にとって朝礼は日本語を練習できる機会でもあると思っています。日本語を話すことだけではなく、聞くこと、書くことも練習できます。但し、毎月話すテーマを考えることは大変ですので、これからの進め方を考える必要があると思っています。他の方に朝礼についてどう考えているのか、またどういう方向で進めていきたいのかを聞きたいと思っています。

日本語教室部 フィン・ゴック・ミン

## ◇異文化を楽しもう！◇

海外旅行・国内旅行気分が味わえる旅の万博「ツーリズム EXPO ジャパン」をご存知ですか？毎年、世界の140前後の国・地域の観光宣伝ミッションが、国内は47都道府県が多彩なプログラムで迎えてくれます。展示、資料配付、ステージパフォーマンスにグルメとわくわくイベントです。

**開催日：**9月24日・25日[一般日] 10:00～18:00 **開催場所：**東京ビッグサイト国際展示場・東展示棟 **入場料：**当日券 大人:1,300円 学生:700円(前売り券あり)  
詳細は公式HP「ツーリズム EXPO ジャパン 2016」をご覧ください。

### 新会員紹介（敬称略）

グエン バン ナム ドウ クオック ダット 井野 明子 ジンタナ ツネミ  
 ロマノ アンドレ ルイス ヒロモリ ゴメス マルセレ カティ スースマ  
 洋子 ウィッカウスキ ヒデアキ ウィッカウスキ レグミ デヴ バハドル  
 ダルシャナ プラサナドラナシンプ ハンデソン ルスキン イマフィドン  
 王 芳 和田 翼 和田 翔太 高橋 まり

連絡先：取手市国際交流協会事務局 取手市役所秘書課内

TEL:0297-74-2141 内線 1112 FAX:0297-73-5995

E-Mail:hisho@city.toride.ibaraki.jp ホームページ:http://www.tifa-japan.com